拝啓

を左記 慈光のもと貴家には益々御健勝の 内申し上げます。 さて報恩講及び総門徒永代経 御事およろこび申しあげます。 で是非御参詣下さいますよう の通 りにて勤修致しま 御案 法要 す

## 記

なお当日粗供養を差し上げます。

十一月十七日 (日) 勤経 法話 午後二時

**台 圣 宁**京都市下京区大宮通花屋町下

光隆寺

電三五一一二七〇八番